

私は南先生、KAIFA の皆さまの指導のもとで、伝統的な茶会に招待され、参加できたことをうれしく思います。

まず、天皇が着るにふさわしいような美しい着物を、私はただじっとして、映画スターのように丁寧に着せてもらいました。

つつましく正座をして、お茶をすすめられると頭を下げました。いかに注意深くお茶をもつかということ、又、お茶をいただく前に3回まわすことを学びました。

お客様に出すお茶、自分がいただくお茶のたて方を教えてもらいました。

いかにこの儀式が五感を刺激し、特に第六感目の自分自身の中にある安心感や、平静さを知る精神的なものに働きかけているかを理解しました。

もしこれがとても非日常的な経験でなければ、私は全く理解出来なかったことでしょう。

先生はそれから、日本の生け花の基本的な概念を教えてくださいました。空間や三角形に分ける法則を見せてくださいました。しかし、もっと大切なことは精神的な象徴的な意味である、そこにある物の属性、性質で花を選ぶことなのです。

先生がほんの少し私のアレンジを変えただけで、私の目の前の花が芸術作品となったことに畏敬の念を持ちました。

この芸術的な茶道、華道を体験できた午後は、私にとって忘れられない素晴らしい経験となりました。